

川越市介護保険事業計画の進捗管理案（在宅医療・介護連携における退院時連携場面について）

資料4

目指す姿	目指す姿の達成に向けた「具体的目標」	具体的目標を達成するための要件	要件強化に向けた当面の取組（市と関係者の協働のもと）	期待される成果	成果を図るための指標	収集方法
本人が納得して、不安なく、望む場所・適切な場所に退院することができる	本人・家族の意向が確認され、関係者間で共有されている	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の意向／価値観／希望・要望が表出され、それを専門職が傾聴し、理解している ・患者の意向／価値観／希望・要望が、関係者間で共有されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者ごとに院内キーパーソン（院内KP）を決めるとともに、それを患者・家族に周知する体制を強化する ・院内KPを核に、患者の意向等を関係者間で共有する体制を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者ごとに院内KPを決める病院が増える ・意向を共有する体制を有する病院が増える ・本人家族の意向の把握率が高まる ・病院に対する満足度が高まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内KPを配置した病院数 ・意向を共有する体制を有する病院数 ・本人家族の意向の把握率 ・病院に対する満足度 	<ul style="list-style-type: none"> 病院向けアンケート ニーズ調査
	様々な相談に対応できる体制（窓口・担当者）が確保されている	<ul style="list-style-type: none"> ・患者ごとに院内及び退院後のKPが決まっていて、何でも相談できる体制が確保されている ・患者・家族が相談しやすい体制となっている（場所、人、雰囲気） 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談場所の院内設置率を高めていく ・院内及び退院後のKP（在宅KP）を患者ごとに決定する体制を強化する ・KP対象の研修会を開催し、KPの役割に対する理解を深めていく ・患者家族に対し、院内KPへの相談の方法等についての情報提供を行う体制を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談場所を設置する病院が増える ・患者ごとに院内KPを決める病院が増える ・院内KP向け研修会の参加者が増える ・院内KPへの相談件数が増える ・疑問や不安が減少する 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談場所を設置した病院数 ・院内KPを配置した病院数 ・研修会の延べ参加者数 ・院内KPへの相談件数 ・疑問や不安を有する退院患者割合 	<ul style="list-style-type: none"> 病院向けアンケート 市で把握する 病院⇒市への報告 ニーズ調査
	本人・家族が望む情報、病院が伝えたい情報が適切に提供され、かつ、理解されている（患者家族⇔病院）	<ul style="list-style-type: none"> ・病気・症状／今後の経過に対する説明が行われ、患者・家族がその内容を理解できている ・患者が知りたい情報が専門職から適切に提供されている ・病院関係者が、地域資源（機能を含む）を適切に把握している ・本人・家族が、退院後の生活をイメージできている ・退院後に起こりうる事象および対処方法（緊急時を含む）を本人・家族が理解している ・本人の意向・希望に沿った様々な提案が行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気／症状／今後の経過に関する説明内容の理解度を院内KPが確認・評価し、在宅KPに情報提供する体制を強化する ・知りたい情報はないか、院内KPが確認する体制を強化する ・研修会等を通じて、病院関係者の地域資源に対する理解を深めていく ・退院後の生活イメージが持っているか、院内外のKPが確認する体制を強化する ・退院後に起こりうる事象および対処方法（緊急時を含む）に対する理解度を院内KPが確認・評価し、在宅KPに情報提供する体制を強化する ・本人の意向・希望に沿った様々な提案を、院内KPを中心に行う体制を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気／症状／今後の経過に関する説明内容の理解度が高まる ・院内KPへの相談件数が増える ・地域資源に関する研修会の参加者が増える ・退院後の生活イメージが持てるようになる ・退院後に起こりうる事象および対処方法（緊急時を含む）に対する理解度が高まる ・病院に対する満足度が高まる ・疑問や不安が減少する 	<ul style="list-style-type: none"> ・病気／症状／今後の経過に関する説明内容の理解度 ・院内KPへの相談件数 ・研修会の延べ参加者数 ・退院への不安を有する退院患者割合 ・退院後に起こりうる事象および対処方法（緊急時を含む）に対する理解度 ・病院に対する満足度 ・疑問や不安を有する退院患者割合 	<ul style="list-style-type: none"> ニーズ調査 病院向けアンケート 市で把握する ニーズ調査
	退院に向けた多職種による検討が行われている	<ul style="list-style-type: none"> 院内多職種カンファレンスが開かれ、情報や方針が共有されている 在宅関係者を交えた退院先の検討が行われている 退院前ケアカンファレンス（CC）で、退院後の療養やケアに関する方針、留意事項等の情報が共有されている 本人・家族が、退院後の生活をイメージできている 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内での多職種CCの開催頻度を高めていく ・院内CCへの在宅KPの出席率を高めていく ・退院前CCの開催率を高めていく ・退院前CCへのケアマネジャー（CM）の参加を増やしていく ・退院前CCへの院内多職種の参加を増やしていく ・退院前CCへの在宅関係者の参加を増やしていく ・退院前CCにて、退院後のケアプラン原案の説明をCMが行い、病院の医療多職種から助言をもらう機会を増やす ・退院後の生活イメージが持っているか、院内外のKPが確認する体制を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内多職種CCの開催が増える ・院内CCへの在宅KPの出席率が高まる ・退院前CCの開催率が高まる ・退院前CCへのCM参加率が高まる ・退院前CCへの院内多職種の参加が増える ・退院前CCへの在宅関係者の参加が増える ・退院前CCにおける退院後のケアプラン原案の説明率が高まる ・退院後の生活イメージが持てるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内多職種CCを開催する病院数 ・在宅KPを入れた院内CCの実施病院数 ・退院前CCの開催率 ・退院前CCへのCM参加率 ・退院前CCへの院内多職種の参加率 ・退院前CCへの在宅関係者の参加率 ・退院前CCにおける退院後のケアプラン原案の説明率 ・退院への不安を有する退院患者割合 	<ul style="list-style-type: none"> 病院向けアンケート CM向け退院患者調査 ニーズ調査
退院後の支援体制が整っている	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の状態や状況に応じた適切な支援体制が整備できている 病院と在宅の同一職種間の連携ができていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護提供体制を拡充する ・看護小規模多機能型居宅介護事業所（看多機）を拡充する ・病院と在宅のリハ職同士の連携を強化する ・病院の看護部門と訪問看護師間の連携を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護実施機関ないし利用者数が増える ・看多機事業所数ないし利用者数が増える ・病院と在宅のリハ職同士の連携が深まる ・病院の看護部門（地域連携、病棟、外来）と訪問看護師間の連携が深まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護実施機関数 ・訪問看護の利用者数及び回数 ・看多機事業所数 ・看多機の利用者数 ・退院前CCへの病院及び在宅のリハ職の参加率 ・退院前CCへの病院及び訪問看護師の参加率 	<ul style="list-style-type: none"> 病院・事業所調査 看多機事業所調査 CM向け退院患者調査 	